

南加岐阜県人会の紹介

〈長良川と鵜飼の思い出〉

岐阜といえば長良川。私の故郷関市は刀匠の街としても有名ですが長良川も走り、規模は小さいながらも夏期には鵜飼も楽しむ事ができる。長良川も岐阜市にさしかかると濃尾平野を流れる雄大な景観にさま変わりするが、関市はその寸前で小高い山々の間を湾曲しながら流れる。水面の色も様々でエメラルド色に澄んだ妖艶な深みと、清澄に流れる浅瀬、そしてそのグラデーションはいつ見ても美しい。鮎やイワナが泳いでいる姿も橋のたもとから観察できる。関の鵜飼は“小瀬の鵜飼”と呼ばれ、さびれた風流な空間をうみだしている。県外そして海外から友人やお客さんが来られたおりは必ず案内し喜んでもらっている。

鵜飼は真っ暗になった川面で、薪のあかりがパチパチと音を鳴らし風に遊ばれるなか始まる。紡がれるように何本もの糸を操る鵜匠と鵜の呼吸のやり取りに、見る人は吸い込まれる。いつ見てもとても神聖な儀式に見える。でも実際にこのやり取りを見るのは30分もあるかないか。川上から川下まで決まった場所を流れ降りてくる時間は意外に短く、あっというまに終わってしまう。鵜飼の醍醐味はやはりこの短い川面を流れ下る30分にあるものの、夕暮れから船に乗りこみ仲間と鮎弁当をつつきながら真っ暗になるまでの時間を船上で過ごすのはいつも楽しい。お座敷で鮎定食を頂くというのもあるが、私はお弁当を船の上で食べながら真っ暗になるのをみんなで待つ時間の過ごし方が好きだ。いつも気づくと真っ暗になっていて、川上から薪の明かりをつけた船が降りてくる。鮎の塩焼きのおいしさと、清流長良川。夏になるといつも懐かしくなる。

〈岐阜県人会の活動〉

『やっとかめ!』岐阜の方言で“久しぶり”を意味する懐かしい言葉。初対面でもすぐに打ちとけるのはやはり同郷のよしみ。毎年恒例の新年会、ボーリング大会そしてソフトボールとBBQを楽しむピクニック。様々なバックグラウンドを持つ参加者達が岐阜という地縁に引き寄せられ楽しいひと時を過ごす。岐阜に縁のある人なら誰でも大歓迎!参加者はSan DiegoやSanta BarbaraといったLos Angeles周辺からも集まってくる。新しい出会い、馴染みの面々に会えるのをいつも楽しみにしている。

南加岐阜県人会は来年100周年の大きな節目を迎える。来年どんな記念祭を開催しようか企画準備に取りかかり始めたばかりだ。日本側そしてLos Angelesに実行委員会を結成し、ユニークでみんなが楽しめる100周年記念が開催できるよう今後企画を練っていく予定だ。

岐阜県人会幹事 関市出身 伊佐地洋子
大学卒業後渡米、NY市、Columbia Univ.で
建築修士を取得。現在は日本の文化、歴史
を食を通して伝える FOODSTORY のイベント
を開催。 <http://ifoodstory.com>



長良川鵜飼 期間：5月～10月



南カリフォルニア岐阜県人会 (会長：ハッピー水谷)

入会についてのお問い合わせ、イベント参加ご希望の方はお気軽にご連絡ください。

URL | <http://scagifu.web.fc2.com>

Email | happy@cathand.com

Call | 310-483-9936